

どうか怖がらないでください。

私は日本の兵隊です。

あなたはもうすぐ日本に行くことになります。

どうか我々がここで亡くなったことを
日本の人々に伝えてもらえませんか？

まえがき

私は、ごくごく普通の人で、普段、幽霊といった存在は視認することはできません。しかしながら、見えない世界にいる住人の方々からの依頼を通じて、その存在を知りました。理解が追いつかない状態で、流されるがまま、第二次世界大戦中、インパール作戦に従事し、亡くなった方々がいるアジア諸国へ赴き、合流して一緒に日本に帰るようになりました。

今まで帰国依頼があった国はタイをはじめ、ミャンマー・中国・インド。見知らぬ土地へ向かうことがほとんどで、不安でしかありませんでした。

が、私が頼りにするのは、彼らから伝わるテレパシーといわれるようなメッセージです。

そのメッセージに含まれる場所への誘導を頼りに、現在、依頼に基づいた海外渡航を16

回続けています。彼らが待つ場所に到着すると、泣いて喜んでいます。各々戦地で命を落として80年以上経っています。死後の時間的感覚は、どんな感覚かわかりませんが、念願の日本へ帰国できる歓喜に満ちた感情がダイレクトに伝わってきて、戦争を知らない私も、その気持ちは理解できました。

今は、S 爺[※]と呼ばれる霊能者の方と知り合い、日本へ連れて帰ってきた日本人の魂を、本来存在すべき場所へ送っていただいています。連絡一本で、その霊能者と会う必要はありません。世の中、特殊な能力を持った人が存在することも知りました。日本へ帰国された方々の魂は、見えない光を発していて、とても心地いいです。

『こんなものがあるなんて……。知らなかった』

この活動を通して、さまざまな体験を現在進行形でさせていただいています。まずは、「英霊の依頼」と名付けた活動の1回目の記録をここに書き残し、戦争で亡くなった御先祖様から皆さんへのメッセージにしたいと思います。

『英霊（えいれい、英霊）とは、死者、特に戦死者の霊を敬っている語』

出典：Wikipedia『英霊』<https://ja.wikipedia.org/> 2024年5月23日

※ S 爺『見えない世界の歩き方』（園田友紀（著）∞ブックス）では S 爺として紹介されている霊能者。全国・世界的にはしゅうさん・SHYUと呼ばれている霊能者。全国的にお茶会に招待され、皆さんが持つ疑問に妄想的な話でなく、見えない世界の現実をリアルにお答えされている。見えない世界の教科書セミナーなど。